

おおがわらまち 議会だより

第146号

平成30年2月1日



子どもは風の子元気な子
(大河原南小学校 新学期登校風景)

議会報告会	②③
議案審議(10・11・12月会議)	④⑤
町政への提言	⑥
議決責任の明確化	⑱
議会傍聴で学ぶ	⑳㉑
常任委員会所管事務調査	㉒
その後どうなったあの提言	㉓

多くのご意見、ご要望、質問をお寄せいただきました

11月9日(木)・13日(月)の2日間

議員が3班に分かれ6会場で議会報告会を開催

ご参加ありがとうございました

【総務課】

意見 行政区の町担当職員がわからない。

意見 白石川堤防決壊対策をするべき。

要望 東日本大震災のような災害時に、役場が中心となつて対応できる体制づくりをしてほしい。

要望 災害時、独居や困っている人のところへ応援物資がきちんと行きわたる体制を整えてほしい。

【企画財政課】

意見 むつみ集会所のトイレに段差があり使いづらい。高齢者には危険。

要望 町の経済活性化になるような対策を講じてほしい。

要望 東桜集会所にエアコンを設置してほしい。電気ストーブも古く、調子も良くないので更新してほしい。

てほしい。

要望 新開集会所にエアコンを設置してほしい。

意見 広表第2公園近くに集会所が出来る予定と聞いている町の土地がある。草刈りも役場にお願ひしいとしてもらえない。

要望 空き家バンクは何で行わない。県のHPにも大河原町は掲載無く、他町に遅れをとっている。もしやっているなら、町民に分りやすくオープンにしてほしい。

要望 デマンドタクシーについて。高齢化が進み免許証返納者が増え、買い物難民が増えていく。デマンドタクシーは福祉タクシー含め町内だけを回っている。角田市や柴田町と連携できないものか。例えば、町内者は300円、町外利用者は500円でも良いのでシステムの構築を。



▲東部集会所

【町民生活課】

要望 クリーンセンターで火災があつた際、消防車が到着するまでに時間がかかった。センターの消火栓の問題を取り上げてほしい。

要望 クリーンセンターは神戸製鋼の関連会社が設計・施行している。神

戸製鋼の建材が使用されていると思うので調査をお願いしたい。

【健康福祉課】

意見 母子手帳の交付日が決まっていて、働いている女性には不都合も多い。なんとかならないか。

要望 蔵王町は予防接種等ワクチンの補助が良いと聞く。子どもが多いと負担も楽ではない。こうしたことを大河原でもできないか。

【商工観光課】

要望 花見の時期しか賑わいがない。この時期以外でも何か活気のあるイベント、見所がほしい。

質問 川根工業団地は地元雇用につながっているのか。

【地域整備課】

意見 玉山食堂から朝倉商店までの道路が狭くて危ない。

要望 荏神堰の工事について、花見の時期は休工と聞いているが、花見客に対して迂回路や安全確保の徹底を図ってほしい。

また、児童・生徒の通学路でもあるので、これについても安全確保をお願いしたい。

要望 東桜は土地が低く大雨のときに水が上がるので、機関場を整備する等の対策を考えてほしい。

要望 川床が浅くなっているの、浚渫工事を県に要望してほしい。

要望 堤地区の通学路にもなっている道路は交通量も多く、スピードを出して走行している車が目立つが、歩道が整備されていない。子供の安全を確保してほしい。

要望 新開東から馬取山へ抜ける道路の側溝が古くなっているの、水の流れが悪い。時間はかかる

だろうが、100mずつでも整備してほしい。

要望 シルバー人材センターでやっている道路の草刈りの際、空き缶やゴミも一緒に処理してもらえようお願いします。

質問 駅周辺再開発を考えているのか。車いす利用者は特に東側に多く住んでいる。

質問 自由通路へのEV設置は。自由通路と駅改札口内の階段の共有化は出来ないのか。



▲東桜集会所

質問 オーガ施設周辺の段差解消は。

【農政課】

意見 以前、大高山遊歩道に花を植えるようお願いしたが、何もしてくれなかった。

要望 西地区の基盤整備を進めてほしい。

質問 イノシシ対策はどれくらい進んでいるのか。

【上下水道課】

質問 今後、耐震工事などでまた水道料金が引き上げられるのではないか。

【生涯学習課】

要望 中央公民館改修に併せて、駐車場が狭いので確保してほしい。

意見 他の市町村では、公民館に社会教育センターのような部署を設置しているところもある。大河原町でもこうしたことで青少年育成につなげて

もりたい。

【企画財政課・商工観光課・地域整備課・農政課】

要望 国見の「道の駅」を見てきたが、大いに賑わっている。飯館の「道の駅」は、300人の村に1日500台以上の車が来ている。これがまさに活性化であると考えているが、当町も、もっと本格的に議論してほしい。



▲本町集会所

※意見・要望に対する回答は、後日議会ホームページに掲載します。

膨らむ工事費！ 中央公民館複合化改修工事

当初、総額3億4020万円を想定していたが

次から次へ変更を重ね、工事費膨らむ
今後も更に工事費が追加される模様
国の補助金（地方創生拠点整備交付金）73
45万円を活用してはいるものの、事業費増へ

10 月 会 議

▼中央公民館複合化改修 工事請負契約の締結

中央公民館複合化改修
工事の請負契約の締結に
関する議案が、満場一致
で可決された。

契約金額

3億4020万円

契約の相手方

株式会社 斎藤工務店

契約の方法

制限付一般競争入札
（特別簡易型総合評価
方式）

工事内容

建築本体改修
エレベーター設置工事
電気設備改修工事
機械設備改修工事

工 期
平成30年3月30日まで

11 月 会 議

▼中央公民館複合化改修 工事請負契約の変更

変更前の契約金額
3億4020万円
変更後の契約金額
3億4980万円

エレベーター設置に伴
う追加工事が必要となっ
たため、960万円増額。



▲大規模改修中の中央公民館

12 月 会 議

▼中央公民館複合化改修 工事

調理室等の追加工事

1300万円

▼中央公民館大ホール等 改修工事実施設計委託料

大ホール吊り天井の工
事が必要なが後にな
つてわかり、その工事の
ための設計費用の増額。

540万円



▲完成イメージ模型

今後、天井等の工事費
として、3000万から
4000万円が追加され
ることがわかった。

更には、第2期工事と
して、外壁の工事等も行
われる可能性があること
が本会議において生涯学
習課長より話があった。
今後の工事にかかる金
額等は未定のようである。

- 1階
- ① 観光情報の発信・案内・物販を行う「観光ルーム」を設置。
- ② 起業・創業を支援する「商いルーム」を設置。
- ③ 役場内にある生涯学習課を移設。
- 2階
- ④ 独自産業研究室・調理室を設置。
- 地階
- ⑤ 住民活動を支援、人材創出を行う「まちづくりルーム」を設置。
- ※その他老朽化部分の改修(地階トイレ、空調設備等)

▲中央公民館複合化改修工事 主な内容

学校給食センター建替えのため用地取得 7115万円（金ヶ瀬中学校北側）

11 月 会 議

▼学校給食センター土地 取得

7115万円

所在地

大河原町金ヶ瀬字原1

04-1ほか計10筆

地目及び地積

田3筆・畑7筆

合計10筆

5135平方メートル

契約の相手方

土地所有者7名

12 月 会 議

▼【主な議案】

教育委員会委員の任命

舟山 幸枝氏

指定管理者の指定

○福祉作業所さくら

社会福祉法人 大河原町

社会福祉協議会

○駅前コミュニティセン
ター（オーガ）及び駅前

立体駐車場

株式会社まちづくりオーガ

○体育施設（総合体育館・
テニスコート・多目的広場）

特定非営利活動法人 大
河原町スポーツ振興アカ
デミー

※指定期間は各施設とも
平成30年4月1日～

平成33年3月31日

大河原町公共施設等整備
基金条例の制定

公共施設老朽化により、
今後建て替え等のための
基金を創設するための条例。



▲更新・改修が求められる桜保育所

大河原町課設置条例の一
部改正

役場内の課の変更のた
めのもの。

健康福祉課が

●福祉課

●健康推進課

の2つの課に細分化される。

▼【主な補正予算】

広域連携協議会支援業務
委託料

150万円

白石川右岸河川敷にお
ける土地利用整備を進め
ていくために仙南2市7
町による協議会を立ち上
げるためのもの。

小規模保育設置促進事業
費補助金

1649万円

フォルテ内に定員19名
の小規模保育施設がオー
プン予定。

地域型保育給付費

1120万円

施設型給付費

2340万円

町内2小規模保育、3
民間保育所の保育士の処
遇改善のためのもの。

公共施設等整備基金積立

3億円

公共施設老朽化により、

今後建て替え等が必要に
なってくる施設が多くな
るために基金を創設し積
立てるもの。

南原町土地鑑定評価業務
委託料

65万円

上川原区南原町の大
雨による冠水被害が最小限
となるよう対策を図るた
め、農地を調整池として
取得するための土地鑑定
委託料。



▲冠水被害を最小限に(用地取得計画予定地)

一般質問

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回11人の議員が行った。

須藤 慎 P⑦

- ICT教育環境整備の更なる充実を

高橋 芳男 P⑧

- ジビエ普及で地域に活力を
- 飲み残した菓を有効に
- 子どものいじめ早期発見へSNSを活用

万波 孝子 P⑨

- 国保県単位化で国保税はどうなる
- 桜保育所の建て替え計画の進捗状況は

堀江 一男 P⑩

- 大規模事業評価委員会条例を見直せ

庄司 充 P⑪

- 今だから、大河原を市に

岡崎 隆 P⑫

- 行政区の改編は待ったなし
- 放射能汚染廃棄物の処理への対応を急げ(掲載なし)

枡 和也 P⑬

- 骨髄ドナーへ助成制度の導入を
- ヘルプカードの作成・配布を

大沼 忠弘 P⑭

- アメダスを設置できないか
- 雇用確保、起業支援に注力を
- 来庁者に配慮した窓口対応を

高橋 豊 P⑮

- 空き家活用で定住促進を

丸山 勝利 P⑯

- 旧検察庁舎をどう活用するのか

伊勢 敏 P⑰

- 追加被ばくの賛否問え
- IT政策強化を長総に 町民学園の存続を 戦略政策室の創設を



問 ICT教育環境整備の更なる充実を

答 効果を検証しながら、整備を進めていく



す どう しん
須藤 慎

問 新学習指導要領改訂の方向性の一つでもある「主体的・対話的学び（アクティブラーニング）」を実現する授業づくりに対して用いられるICT。これらの環境整備が



▲ICTを活用した授業(大小自主公開研究会)

急務と考えるがどうか。

教育長 教育委員会、学校現場としても、ICT機器の環境整備は急務であると捉えている。効果を検証しながら、着実に整備を進めていく。

問 11月7日の大河原小学校自主公開研究会で行われていたタブレットを使った授業。今後の授業

一般質問

教育長 児童・生徒用タブレットの整備も必要で

問 児童・生徒用タブレットの導入も急務と考える。段階的に導入すべき。

教育長 児童・生徒用タブレットの整備も必要で

問 タブレットPCの整備状況は。

教育長 平成21年度に全校への配備を完了。無線環境の改善を行っている。

問 各学校の無線LANの整備状況は。

教育長 タブレットは子どもたちにとって分かり易い授業にするために様々な点で大変有効な手段と考えている。

づくりや子どもたちの学習に大変有効な手段と考えるがどうか。

問 小学校3・4年生の外国語活動(各35時間)、5・6年生の外国語(各70時間)の授業時数増による学校現場への影響は。

教育長 小学校3・4・5・6年生が週1時間の授業時数の増となる。様々な点で教員の多忙化に更に拍車がかかり、学校現場に負担がかかるのではないかと危惧している。

問 町内小中学校のALTの2名体制を3名体制にすべき。

教育長 3名の配備ができれば理想であると考えている。



たか はし よし お
高橋 芳男

問 ジビエ普及で地域に活力を

答 現在は国の制限があり困難

問 全国ではジビエを活用する動きが広がっている。政府推定では、シカとイノシシ年間112万頭が自治体や猟師らに捕獲され、そのうち食用になるのは約1割程度だといふ。そこでわが町でもジビエの普及に取り組む



▲イノシシ対策の決め手になるか“ジビエ”

べきだと思いがどうか。

町長 ジビエはイノシシ等の数を減らし、資源有効活用になり、大変有効と理解している。しかし、現在宮城県では出荷制限指示が出されているため、ジビエの活用は困難であることから、鳥獣被害対策としてイノシシ対策強化と狩猟免許取得者や農作物有害鳥獣対策協議会への支援をしていく。



一般質問

※ジビエ 狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉でフランス語。

飲み残した薬を有効に

た。当町も取り組むべきと考えがどうか。

問 通院の際に処方されたものの、飲み残された薬は全国で年間500億円規模と推定される。横須賀市薬剤師会は対策として、回収バッグ「ヨコスカネイビーバック」を作成。昨年9月から1年間で380人から合計約613万円分の薬を再利用。医療費を削減でき

町長 残薬については、第一に服薬管理が大切と考えている。本町の状況や有効性を考慮しながら、場合によっては近隣自治体との連携も必要となると考えられることから、今後の検討課題とする。

子どものいじめ早期発見へ

SNSを活用

問 現在当町では、学校のスクールカウンセラー配置や電話相談の対策が進められているが、早期発見手段としては十分といえない。長野県はLINEでのいじめ相談事業を展開し、2週間で1579件のアクセスがあり、そのうち547件の相談に応じる実績を残し

町長 現在、文部科学省が平成30年度から体制構築に向けた調査研究を行うと聞いており、その実施状況を見守りながら、相談体制の充実について検討する。

千万円の一部を引き下げに活用すべきでないか。

町長 「税が非常に高くなる場合」には、検討が必要と考えている。

桜保育所の建て替え計画の

進捗状況は

て検討を始めたところである。

問 南桜公園となれば、保護者の駐車場は十分確保できるのか。地区住民には、新たな場所に公園を設置する課題もでることから十分協議し理解を求めていくべきでないか。

子ども家庭課長 駐車場は確保できるようにしたい。

町長 住民の理解が大変重要となるため、しっかりと説明責任を果たしていきたい。



一般質問

問 国保県単位化で国保税はどうなる

答 税率改正しないので高くなることはない

問 2018年4月から国保の財政運営が市町村から都道府県に移管される。県が公表した市町村別の一人当たりの年間保険料(税)試算によると、本町はマイナス1・0%減少する自治体となっているが。

問 県に対してどのような意見をあげてきたのか。

町長 被保険者の負担が大幅に増えることのないよう意見を提出している。

問 県に100%納付する本町の納付金は約5億8585万円と試算されている。財源確保は。



まん なみ たか こ
万波 孝子

<大河原町国民健康保険税の計算方法(医療分のみ)>

- 医療分(①+②+③+④)
- ① 所得割 (給与所得の場合)
(給与所得－33万円)×6.8%
- ② 資産割 固定資産税額×21%
- ③ 均等割 加入した人数×22,500円
- ④ 平等割 1世帯当たり×26,000円

※現在の①～④の4方式から、②資産割を除く3方式に変更予定

▲大河原町の国民健康保険税(現在)

町長 不足が生じる場合は、国保基金による補てんの検討が必要と考えている。

問 国保税率は4方式から3方式に変わる。資産割がなくなるが、一人当たりの保険税は高くなるのか。

町長 税率改正しない方

問 改築については、平成27年度より検討に着手することになっていたが、協議はどこまで進んでいるのか。

町長 平成30年度に基礎的な調査や検討、31年度に設計、32年度に建設を目標としたところである。

問 新築移転となれば、新たな用地を早急に確保しなければならないが、候補地はあるのか。

町長 第一候補地「南桜公園」、第二候補地「中核病院西線周辺」等とし



庄司 しょうじ
充 みちる

問 今だから、大河原を市に

答 民意の盛り上がりを待つ

元総務相の増田寛也氏著「地方消滅」を契機に自治体行政において「地方創生」が大きな課題となった。私は大河原町の行く末を考えたとき、増田氏の主張を大筋において是とするものである。本町の人口は一時的に若干の増加はあるものの、2年前の2万3800人から減少局面に突入している。周辺町村は本町よりはるかに著しい人口減少問題を抱えており、今後益々広域的な取組みが欠かせない。仙台や東京など大都会への人口流出を防がなければならな



一般質問

町長 合併が実現しなかった原因のひとつは住民投票の結果を受けての議会の判断であり、ふたつは柴田町が合併協議会を離脱したことである。現在の合併についての考え方が平成の大合併後の周辺地域の疲弊や今後の

町長 合併が実現しなかった原因のひとつは住民投票の結果を受けての議会の判断であり、ふたつは柴田町が合併協議会を離脱したことである。現在の合併についての考え方が平成の大合併後の周辺地域の疲弊や今後の

町長 合併が実現しなかった原因のひとつは住民投票の結果を受けての議会の判断であり、ふたつは柴田町が合併協議会を離脱したことである。現在の合併についての考え方が平成の大合併後の周辺地域の疲弊や今後の



▲大高山遊歩道里見展望台から大河原町の行く末を考える

合併特例債の償還など多くの課題が残されている。現在の住民の生活圏の拡大や今後の地域活性化を考えれば、今後の合併検討は仙南広域での枠組みなども想定されることから、以前のような3町の枠組みで合併を考えるのは難しいと受け止めている。当面は各市町の特徴

を尊重しながら市町間の垣根を低くして連携と役割分担による地域振興を先導してゆきたい。市町村合併については、相当の民意の盛り上がりとは、何よりも相手があることなので、広域連携を推進しながら、その時々の方角を見極め、慎重に対応していく考えである。



堀江 かつお
一男

問 大規模事業評価委員会 条例を見直せ

答 議論を深めたい

町長 中央公民館の複合化については、6月議会において一般質問に回答したとおり、施設の維持修繕に係る事業のため、大規模事業評価委員会には、諮らないと判断した。また、給食センターについては、大規模評価委員会を本年4月と5月に2回開催し、全体事業として適正であるとの答申をいただいた。

町長 中央公民館の複合化については、6月議会において一般質問に回答したとおり、施設の維持修繕に係る事業のため、大規模事業評価委員会には、諮らないと判断した。また、給食センターについては、大規模評価委員会を本年4月と5月に2回開催し、全体事業として適正であるとの答申をいただいた。



一般質問

町長 6月議会で維持修理のため評価委員会にはかけないとのことであったが、条例では確かに災害復旧事業、施設の維持修繕は対象外であるが、3億8000万円を超す工事が修繕なのか。条例では1億円を超す事業は、評価委員会にかけなければ予算措置は出来ないことになっている。国の補助事業が急に受けられることになり、時間的に評価委員会を開催できなかったことは察することができ、目先の補助事業にすぐに食いつくことは考えるべきと思う。この条例が制定された目的は、町執行部が独断で大規模事業を行わないようにしようとしているものと考えて。3億8000万円の改修工事が修繕なのか再度尋ねる。

町長 6月議会で修繕ということで回答させてもらったが、少し無理があったと考えている。補助申請に時間がなかったことも理解してほしい。

町長 近頃は、国の補助事業も変化してきており、急を要する事業も出てくると思うが、大規模評価委員会条例がある以上、

条例に従うべきと思う。すでに予算が議決されているので私にも責任があるが、解釈の違いなど、この条例が現状に合わないなら条例を見直してはどうか。

町長 条例の改正がどうあるべきか議論を深めたい。



▲改修中の中央公民館内部



おかざき 隆
岡崎

問 行政区の改編は待ったなし

答 次年度は厳しいが、今後前向きに取り組む

11月に各行政区長に今後の行政区の合区、分区の必要性や現状の課題等10項目にわたるアンケートが行われた。わが町は昭和56年から8度の区画整理事業が行われ、その間に人口は4160人、世帯数も4308世帯増加しているにも関わらず一度も行政区の改編を行っていない。すべての行政区ではないが、いくつかの行政区からは多くの課題があるとの声が寄せられている。以前から指摘しているが、防災・減災・自助共助の観点からバイパスをまたぐ行政区や近年大きく面積が広が

った行政区等の問題の洗い出しと解決に向けたアプローチは行政区任せではなく町が積極的にかかわっていかねければ解決に至らない状況であるので伺う。

問 アンケートで区の改編の是非、適正な世帯規模についてどのような結果であったか。

町長 19の行政区が改編が必要、適正人口規模は300〜400人との回答であった。

問 特にバイパスの西側には公の避難施設等が無い事への不備を指摘してきたが、今回のアンケートは36年間見送られてきた改編に向かう足掛かり、改編に取り組むと受け止めてよいか。



▲防災・減災のためにも行政区の改編を急げ(避難施設等がないバイパス西側)

以上が分区を行い暮らしやすい街づくりを行っている。参考にしたうえで新たな人口減少社会も見据えた合区と分区の取り組みのラストチャンスではないか。やるかやらないかどうなのか。

町長 来年度予算化し取り組みことはできないが、今後前向きに取り組む。

一般質問

町長 非常に長い時間を要するものと考えている。

町長 非常に長い時間を要するものと考えている。



かすや 和也
ます 柁
和也

問 骨髄ドナーへ助成制度の導入を

答 前向きに対応する

白血病など重い血液の病気と診断される方は、年間約1万人いると言われる。骨髄移植、末梢血管細胞移植は難治性の血液疾患などに対する有効



▲県の動向が注視される助成制度

な治療法と言われ、骨髄バンク事業では、ドナー登録者数は29年10月末現在47万9966人で移植希望者数は3721人となっている。ドナーの健康上の問題のほか提供に伴う通院や入院のための休暇を認めるか否かについての事業主の対応等さまざまな要因により移植

一般質問

ヘルプカードは必要な支援内容や緊急連絡先などを記載でき、手助けが必要な人と、手助けしたい人を結ぶカードである。また、ヘルプマークは援助や配慮を必要としていることを周囲の方に知らせることで援助を得やすくするマークである。

ヘルプカードの作成・配布を

問 当町もヘルプマークの入ったヘルプカードを早期に導入すべきと思うが。

町長 必要性については認識している。来年度の障がい福祉に係る啓発事業の中で、ヘルプカードの作成・啓発を進めていきたい。

問 助成制度を実施している自治体は、入院・通院に要した日数(上限7日)×2万円である。当町も今後県の補助の動向もあるが、早急に検討・導入すべきと思うが。

町長 県の動向を注視しながら、早期に助成制度が導入できるよう前向きに対応する。



大沼 忠弘

問 アメダスを設置できないか

答 気象台に確認したところできない

問 これまで町にアメダスを設置して欲しいとの要望等はなかったか。

町長 なかったものと認識している。

問 アメダス設置の働き



▲設置が望まれるアメダス(蔵王町平沢のアメダス)

一般質問

かけをおこなったことはあるか。

町長 おこなっていない。

問 現在の気象予報データで、気象災害に対する情報量は十分なのか。

町長 気象庁や県からの情報システム、その他の情報も含め総合的に判断している。特別警報等が発表される恐れの場合は、気象台や県から直接電話等による連絡体制も整備されており十分と考える。

問 アメダスがあつたほうが良いのでは。

町長 あつたほうが良いと思う。

雇用確保、起業支援に注力できないか。

問 にぎわい創出中央公民館複合化改修後の起業・創業支援の具体的構想は。

町長 中央公民館に配置される「商いルーム」を起業・創業支援の拠点として位置付け、関係機関と連携しながら手法を判断していく。

問 町内にコワーキングスペースを設ける考えは

町長 スペース、整備費の課題がある。需要を見定める必要があり、現段階では着手できないと考える。

来庁者に配慮した窓口対応を

問 来庁者からの接遇に対する意見や指摘等はあるか。

町長 接遇が良くなったとご意見をいただいている。反面、少数だが職員の説明不足等により、ご意見やご指摘が寄せられる状況もある。研修等を通し資質向上に努める。

問 町民相談室の利用頻度は。

町長 ほぼ毎日利用、非常に高い利用頻度。

問 プライバシー保護のため個室での対応は。

問 空き家活用による定住促進についての施策は全国で進められている。本町も今後は人口減少に突入し、少子高齢化のため空き家が増えていく。空き家活用による定住促進は積極的に取り組む必要があると考え、質問する。

問 空き家バンクの整備活用について、実施状況と現在の進捗状況は。

町長 本町においては、震災以降、好調な新築家屋の建設が続いている。また、空き家になっても更地化し新築される傾向が続いている。加えて、空き家などの賃貸希望者

に対し、不動産業者が十分に仲介できる環境にあるため不動産業者と情報交換をさせていただく。

問 全国移住ナビとの連携、大河原町移住サイトについて実施状況と現在の進捗状況は。



▲早急な開設が望まれる本町移住サイト

問 移住者の空き家リフォーム支援制度の内容と実施の予定は。

町長 移住・定住政策の中で空き家リフォーム支援は一つの手段と考えている。「移住・定住」に関する支援、次に「移住者が住宅を新築した場合の支援」、その次に「移

を利用するとされる起業・創業支援を行う「商いルーム」が設置される予定となっている。今後の展開は。

一般質問

問 (仮称)にぎわい創出中央公民館複合化事業の中で、空き家(店舗)等

町長 中央公民館複合化により設置する「商いルーム」の主な目的は、起業・創業支援である。こ



丸山 かつとし
まる やま



一般質問

そもそも行政は必要な時に、必要なものを、適正な価格で買うものではないか。昆虫標本の倉庫だけではもったいない。

町長 建物や駐車場の改修には結構な手間と経費がかかる。また条例での位置づけも考慮し、社会教育施設を中心にさまざまな角度から検討したい。



▲活用が待たれる旧検察庁舎一室

問 旧検察庁舎をどう活用するのか

答 さまざまな角度で検討する



▲裁判所となりの旧仙台地方検察庁大河原支部

問 平成5年に昆虫標本を寄贈され、また一部を評価額の半額の800万で購入したが、中央公民館のロビーに展示や、年1回の昆虫展以外にも活用してはどうか。貴重な蝶などの標本もあるようなので、桜まつりや観光にも活用して大河原町のPRにもつなげてはどうか。

町長 しっかり活用して



▲今後、公開機会が増える昆虫標本

問 追加被ばくの賛否問え

答 追加被ばくは仮想の話、問う必要なし



▲上谷団地間近にそびえる仙南クリーンセンター

能の最大10%が焼却炉から大気中に拡散する。県が「0.1%以下」とする根拠は、環境省の「セシウム分子の160倍大の目の紙袋を通過した後に残ったセシウム」を計測した結果である。

私が尋ねるまで、仙南広域関係者は放射線測定器の測定下限値（0.006μSv/時間）を確認すらしなかった。焼却で放射能の10%が拡散しても、平均0.000037μSv/時間で、測定器に反応しない。

反応しないという測定結果を「安全を証明」する根拠に使うことは、町民を欺くことである。

最大の問題は、1日5トンの焼却で、拡散率が10%の場合、毎日平均17



伊勢 さとし
い せ



一般質問

問 スマホ決済が中国で普及するなど様々な分野でIT(情報技術)が進展している。IT政策の強化方針を第6次長期総合計画に含めてはどうか。健康づくりなどを推進するため、改めて「町民学園」の存続を求める。今後増加が予想される複数の課にまたがる事業（IT、健康、ブランド政策など）を中心的に担

IT政策強化を長総に 町民学園の存続を 戦略政策室の創設を

うあるいは調整役を担う部署（仮称）戦略政策室」を創設してはどうか。

町長 IT政策は今後重要になると考える。

町民学園は平成29年度末で終了とする。

複数の課にまたがる事業については、意識していくべきことと考える。

用全額補助」制度を活用すべきである。

町長 追加被ばくは「仮想の話」である。よって、住民投票は実施しない。

《平成29年第4回定例会(10月会議・11月会議)及び第5回定例会(12月会議)議案等審議結果》

件名	議決月日	議決結果	議員別表決結果一覧														
			高橋	伊勢	佐久間	須藤	大沼	高橋	岡崎	丸山	堀江	枡	庄司	万波	秋山	山崎	佐藤
			豊	敏	明	慎	弘	芳男	隆	勝利	一男	和也	充	孝子	昇	剛	貴久
工事請負契約の締結(大河原町中央公民館複合化改修工事)	10/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
平成29年度一般会計補正予算(第6号)	10/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
土地の取得(金ヶ瀬字原104番1ほか 計10筆)	11/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
工事請負契約の変更契約の締結(大河原町中央公民館複合化改修工事)	11/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成29年度一般会計補正予算(第7号)	11/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	11/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
教育委員会委員の任命	12/14	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	欠	議
大河原町福祉作業所さくらに係る指定管理者の指定	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
大河原町駅前コミュニティセンター及び大河原駅前立体駐車場に係る指定管理者の指定	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
大河原町体育施設に係る指定管理者の指定	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
大河原町公共施設等整備基金条例の制定	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
大河原町課設置条例及び大河原町議会委員会条例の一部改正	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
職員の給与に関する条例の一部改正	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
大河原町少人数学級編制の実施に係る任期付教職員の採用等に関する条例の一部改正	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
大河原町営住宅条例の一部改正	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成29年度一般会計補正予算(第8号)	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成29年度水道事業会計補正予算(第2号)	12/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

視察来庁報告

◇平成29年11月2日

福島県石川町議会

議会運営委員会が来庁

- (1)大河原町議会の概要
 - (2)予算・決算特別委員会
 - 設置理由と時期
 - 審査方法及び会期日程
 - 説明、質疑の方法
 - 運営上の問題など
 - (3)議会改革、議会活性化
 - 議会改革の取り組み
 - 通年議会、議会報告会
 - 議会ネット配信など
- 以上の調査事項に対し、議会運営委員会で応

対させていただきました。

◇平成29年11月14日

埼玉県滑川町議会

議会運営委員会が来庁

- (1)大河原町議会の概要
 - (2)議会改革による議会運営の工夫点
 - 開かれた議会づくり
 - 大河原町議会中継
 - 議会改革による議会運営の工夫
 - (3)議会基本条例について
- 以上の調査事項に対し、議会運営委員会で応対させていただきました。滑川町議会には、平成26年に総務文教常任委員会で視察に行っており議員間交流も行うことができました。

◇平成29年11月16日

三重県朝日町議会より

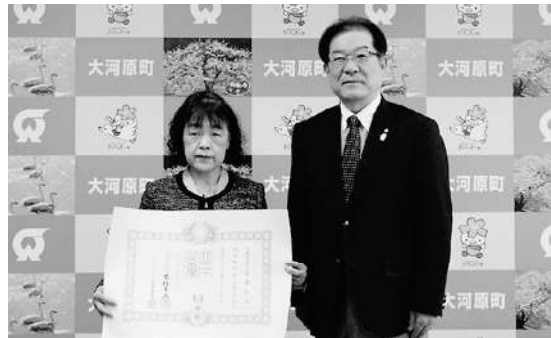
飯田議長を始め

総勢14名が来庁

(1)大河原町議会の概要



▲三重県朝日町議会



故安藤征夫元議員
内閣府より叙勲

平成29年7月28日付けで、内閣府より叙勲（旭日双光章）が、故安藤征夫元議員に対し贈られました。町長室にて奥様が受け取られました。

議会一同、安藤元議員の永年の活動に敬意を表するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

議員表彰

庄司 充議員
文化の日表彰

平成29年10月31日、東京エレクトロンホール宮城にて「平成29年宮城県文化の日表彰式」が挙行されました。

庄司議員は「地方自治功労」で、永年にわたり地方自治の確立と住民福祉の向上に尽力した功績により表彰されました。



町村議会
広報研究会

平成29年11月7日、宮城県自治会館研修室において「住民に読まれ、議会活動が伝わる議会広報誌編集のポイント」と題し、町村議会広報研究会が開催され議会広報常任委員会で参加しました。

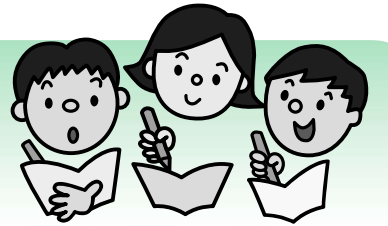
講師は（社）埼玉県コミュニケーションセンター理事長 芳野政明氏。



▲議会活動が伝わる議会広報を目指して



小学6年生、整然と議会傍聴 感想文に見る真剣さ



議員さんたちがすごくしんけんでとても正式な場だと言うことがわかりました。学校の代表委員会のに似ていてこのように進めればいいのかあ〜と思いますごく勉強になりました。内容は良くわかりませんでした。がイノシシのひがいとかに目をむけていなかったのてそんなだあ〜とか思ったりして知ることができました。ありがとうございました。

議会と聞いたので、もう少しきたい「ガチガチした話し合い」なのだろうと、かつてに想像していましたが、『飲み残した薬』、『いじめ』など身ぢかな話が多く、少し安心しました。

また、実さいは、大きな問題であることなのに、わたしたちは気がつかないようなことが発言されていて、「なるほど!」と思いました。

最初は私たち子どもが分からなような質問が多いと思ったけれど、私たちでも日常にやくだてることができることが多くあっておもしろくおもしろかったです。とてもためになりました。

次々と、意見を発言しているところが、すごくりっぱだと私は感じました。議員さんたちは、なぜ、そんなに速く、意見などが思いうかぶのか疑問です。これからも町を明るくするためにがんばってほしいなと思いました。

12月12日、13日の両日、町内全小学校（大河原小学校、大河原南小学校、金ヶ瀬小学校）の6年生6クラス218名が、議会議事堂においてクラスごとに一般質問を傍聴しました。
本会議場に入場した児童たちは、あまりの静肃さに驚き、質問、答弁に真剣に聞き入っていました。一般質問に関する意見及び感想文をお寄せいただきましたので、一部をご紹介します。

私は初めて議会へ行って思った事は、町長さん議員さんたちは、大河原の事を考え、がんばって意見を出しあっているのに、若い人たちは投票しないので、人のくろうを知らないで「めんどくさいから投票に行かない」とか言ってられないなあと思いました。私は大人になったら、絶対投票しに行きたいと思います。

大河原町で行われている取り組みや町づくりのことが分かりました。町民のためにこのような議会を開いてくれていることはありがたいことだなと思いました。

私は、よくテレビを見て、「天気予報を見ると、仙台、白石、気仙沼、古川と書いてあるのになぜ大河原と書いていました。」「書いていたら、町民のみなさんがすぐに、はっきりしている天気が分かりやすい。」と思ったら、アメダスは、設置の場所の問題について知ることができました。

でもアメダスは、賛成です。設置については、いろいろとありましたが、アメダスを設置すれば大河原のみなさんが天気について分かりやすいと思いました。

アメダスは、大河原町にも設置した方がいいと思います。

理由は、少しでも多くの情報を提供してほしいからです。そして大河原で、もし地震や洪水が起きたら少しでも多くの人が助かるようにしてほしいからです。アメダスを設置すれば、それができると思います。

骨髄ドナーで思ったことは、たとえば他の県で滞納者に助成金を支はらわなくても、宮城では一人一人の命や一つ一つの家族を大切に、少しでも、白血病の家族に失う命を減らしていくことがまずために失う命を減らしていくことがまず一番に考えることだと思います。また、ドナー登録をする人を増やさないとい一致する人を見つからなくて命を落とすことになってしまうので宮城のドナー登録を増やすことが大切だと思います。これが私の考えです。

タブレットは、グループに1つがいいと思いました。理由は、グループに1つだと、みんなで確かめ、話し合うことができるのでグループに1つとしました。また、グループに1つの方が、その1つのタブレットの中にみんなの意見をまとめることができ、発表のときもみんなバラバラな意見ではなく、1つにまとめたやりやすく、相手も分かりやすい資料で、発表ができるので、タブレットはグループ1つがいいと思います。

骨髄ドナーに対する助成について、私は良いと思いました。あと再質問の時に、すぐに、おかしい所や質問をすぐかえすことは大変なのに、ちゃんと話していてすごいと思いました。もし私が白血病になったら、ドナーの登録者数がたくさんいた方が助かる確率も高くなるからいいと思いました。

タブレットも大切だけど、自分で考えてその考えを友達と話し合うことが大切だと思いました。

なぜかという、友達と話し合うことで自分では思いつかなかった考えを共有できる上、物事を色々な面からとらえることができるようになります。そして、子供のころから話しておかないと大人になってから話すことが苦手になってしまい、いくらよい考えを持っていても伝えることができなくなってしまいます。



その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について調査・追跡しました。

老朽化した集会所の改修を



▲建設中の稗田前集会所

提言

老朽化した稗田前集会所の建て替えが必要と思われるが建設の考えは。

議員の提言
(一般質問)
平成21年12月
平成26年9月

平成30年
3月完成予定

追跡結果

平成29年度に稗田前集会所建て替え関連予算計上。地域住民の意向を取り入れながら建設が行われている。

雨水対策を急げ



▲鷺沼5号雨水調整池完成イメージ

提言

度々のゲリラ豪雨、台風での大雨被害に悩まされている。抜本的な対策を急いでほしいという町民の声が長年数多く寄せられている。

議員の提言
(一般質問)
平成24年9月
平成25年3月・12月
平成26年9月
平成27年12月

平成29年
12月現在

追跡結果

現在、柴田町清住町地内で5号調整池の工事が実施されているが、雨水対策の抜本的な解決には莫大な費用と年月を要する。

委員会調査 町への提言



▲さらなる活用を模索して現地調査

総務産業常任委員会
①大高山遊歩道の管理状況について
遊歩道の管理については、草刈り、枯れ枝等の除伐及び砂利敷きなどを毎年実施している。
また、「かたくり」の群生地保護のための看板設置や柴田農林高等学校によるバイオ栽培の「りんどう」の植栽など景観の整備に努めている。
森林病害虫等防除事業として、松くい虫による被害の拡大を防止するため、宮城の松林健全化事業等を実施した。松くい虫被害木の伐倒及び薬剤くん蒸95本（111万7千円）。



▲有効活用に想いを巡らす委員

②旧検察庁跡地の有効活用について

大高山遊歩道及び天狗森山遊歩道は町民の憩いの場であり、草刈り・施設整備などの維持管理を行った。
トイレが無いので整備した方がより使いやすいのではないかと。遊歩道のPRをした方が良いとの意見が出された。

文教厚生常任委員会

村田町学校給食センターの施設整備と運営状況について

村田第二中隣接地に建設
●平成27年6月竣工。
●延床面積1107・9平方メートル。鉄骨造2階建て。
●1日1000食（アレルギー対応食可）。
●ドライシステムを採用。
●小学校2校・中学校2校に配送。配送車2台。
●基本理念「子どもたちの笑顔が広がるおいしい学校給食」
●給食 米飯4日、パン1日。1食当たり小学校

まま施設として使用するには難がある。
敷地低い所に土盛りを行い花見時の駐車場として利用した方が良いのではないかと。また、町民に対して、工作室やイベントを開催する時など、レンタルルームとして貸し出した方が良いのではないかと等の意見が出された。



▲現代にふさわしい給食センターを求めて調査

278円、中学校310円。
運営状況について
●民間委託している。委託料年間約3000万円（3年契約）
●大量調理でも手作りに心掛けている。
●食物アレルギー対応メニューの作成。
●アレルギー食 小学校2名、中学校1名。
●家庭に近い食器を使用。
●地産地消の推進の中で米は町内産を直接使用し、「地場産品給食の日」を実施していることは本町でも参考にしていくべき課題と言える。

こんな町に住みたいな



大河原中学校
三浦 千大



大河原中学校
村上 桃萌

僕は、自然とうまく
けあって、のどかで住み
やすく、町の人たちとの
交流があり、協力し合っ
て何事も乗り越えていけ
る笑顔あふれる町に住み
たいです。

僕の理想の町に一番近
いのはこの大河原町です。
大河原町には、一目千本
桜や花火大会、イルミネ
ーションなどのイベント
があり、毎年たくさんの方
人が訪れます。また、介
護施設もたくさんあり、
お年寄りにも優しい町で
す。いろんな世代の人た
ちとたくさんふれあうこ
とができるこの大河原町
は、僕にとって住み続け
たい町です。

私は安全な町に住みた
いです。

安全な町にしていける方
法として、犯罪を防ぎた
いです。そのために11
0番の家を増やすことを
提案します。110番の
家の札を見えるところに
貼るだけで、町民全員で
犯罪防止に取り組んでい
るというアピールにつな
がり、犯罪が減少するこ
と思います。もう一つ安全
な町をつくるために、交
通事故を防ぎたいです。
そのための方法としての
提案は、見守り隊の方々
に協力していただいて、
登校だけでなく、下校も
見守っていただくことです。
以上のような活動な
ら、地域の方との交流も
増え、町民の団結力が高
まり、効果的に安全な町
づくりをしていくことが
できると思います。

街かどワンショット



おおがわら桜イルミネーション(白石川右岸河川敷)
町内の中学生提案がこの冬に実現し、白石
川河川敷に新名所「おおがわら桜イルミネ
ーション」が誕生しました。冬の一目千本桜
が夜の間だけ、優美な姿をあらわしました。
満開の春から、夏、秋、冬へと姿を変えて
いく一目千本桜の四季を2分間のイルミネー
ションで表現しました。(現在は終了)

今回の表紙は



今回は大河原南小学校の新学期登校風景
を撮影させていただきました。
寒い中、たくさんの方の荷物を持って、元気
いっぱいに登校していました。

3月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか
招集日3月1日(木)・再開日3月7日(水)

詳細は議会事務局まで ☎53-2800

編集後記

編集会議では、タイ
ルとエトキ(絵解き、写
真の説明文)の文言の検
討にかなり時間を要します。
議会の意思や各議員の
主張をこれらにしっかりと
入れ込むことが重要、こ
れを「正確に・短く」表現
することは難しいです。
3つの小学校6年生が
12月、一般質問の傍聴を
されました。傍聴者全員
の感想文を拝読しまし
た。そのうち12名の感想
文を選び本号に掲載しま
した。高度な、幅広い
複合的な視点からの感想
文もあり、感激しました。
小学生が執行部役を行う
模擬議会の開催、どうで
しょう? (伊勢 敏)

編集発行責任者

議長 佐藤 貴久

議会広報常任委員

委員長 佐久間 克明

副委員長

委員 須藤 慎

委員 万波 孝子

委員 大沼 忠弘

委員 伊勢 敏